

2017年4月21日 第3197回例会
於： 横須賀商工会議所



<点鐘・開会> 12:30 谷 会長
 <斉 唱> 「手に手つないで」
 <会長報告> *新会員入会 猿丸新二 会員
 *ガバナー事務所より
 ・財団奨学生オリエンテーション/
 懇親会開催のご案内について
 4月22日(土)
 15:00~16:45 オリエンテーション
 17:00~ 懇親会
 於：第一相澤ビル5F

<幹事報告> *例会終了後第4回被選理事役員会開催
 (例会場)
 *現次委員長会議開催 於：魚藍亭 18:30~

<出席報告> *出席委員会 澤田委員長より4月21日の出席率

会員数	出席対象者数	出席数	欠席数	メイクアップ数	出席率
109名	91名	62名	29名	9名	75.53%

<ニコニコ報告>

- ・若麻績、西村、岩瀬、三堀 各会員 誕生月祝いとして
- ・上原 薫、若麻績、植田各会員 入会月祝いとして
- ・三 役 猿丸新二様、入会おめでとうございます。今後のロータリーでのご活躍を期待します。
- ・飯塚、上林、新倉 俊、植田、福西、瀬戸、井荊、鈴木 豊、勝間、田邊、渡邊、秋本、澤田、薦野、波島、吉田 啓、若麻績、鈴木 豊、信木、大竹、岡田、根岸、土田、齋藤 眞、鈴木 健、長澤、上原 薫、萩生田 各会員
 メルキュールホテル横須賀 総支配人 猿丸新二様、ご入会おめでとうございます。ロータリーライフを一緒に楽しみましょう。
- ・猿丸 会員 名誉ある横須賀ロータリークラブへの入会をご承認いただき有難うございます。頑張ります。今後とも宜しくお願い申し上げます。
- ・三 役 地区研修協議会、参加の皆様お疲れ様でした。本日報告宜しくお願ひいたします。
- ・前川、岩瀬、勝見、三堀、物井 各会員 地区研修協議会、ご参加の皆様お疲れ様でした。本日のご報告よろしくお願ひ致します。
- ・外木 会員 大河原会員のご葬儀にご参列頂きありがとうございました。
- ・宮島 会員 大河原知民さん、最後まで格好つけて死んで逝きました。
- ・鈴木 豊、大竹、清水 各会員 芦田まなだよ〜。ところで慶應中等部入学おめでとう。どんどん活躍して立派になってね。卒業生のオジさん達一同より

<卓 話> 「第3回クラブ協議会」『地区研修協議会報告』

1. 会員部門 小林 康記
 4月16日に開催された地区研修協議会の報告をさせていただきます。私は、会長部門に参加いたしました。大谷新一郎ガバナーエレクトより、次年度の地区の方針が発表されました。地区の方針 ガバナーエレクト 大谷新一郎
 1) 増強を最重点にします。

- 女性会員と若い会員の増強を軸に会員50名以下のクラブは1名以上。51名以上のクラブは2名以上を継続。
- 2) 戦略計画の実行
 公共イメージと認知度の向上（メディアとの連携）を重点に。
 長期計画目標と実行（10年後のイメージ）
 - 3) 寄付のお願い
 R財団（奉仕活動への資金源） 目標 年次寄付200ドル以上/1人
 恒久基金1,000ドル以上
 クラブ ポリオ 40ドル以上（撲滅までの理解）
 ★地区補助金・グローバル補助金の積極的利用。
 ・米山奨学金 20,000円以上
 - 4) RI会長賞（3つの戦略的目標のうち各4項目）
 - 5) マイロータリーの登録率向上 25%以上
 - 6) 柔軟性の正しい理解（2016年規定審議会）
 と以上の様な課題が提案されました。その後、6つのグループに分かれて、会員増強についてディスカッションが行われました。

2. クラブ奉仕部門（クラブ奉仕担当） 岡田 英城

クラブ奉仕部門へ北村次年度会長エレクトと参加してまいりました。リーダー森パストガバナー、サブリーダー佐々木辰郎氏、市川洋氏、関口修氏の構成で会議が進みました。前半森リーダーによる「戦略計画から見たクラブ管理運営について」の講演がありその後、4つのテーブルに分けた「クラブ活性化の為のグループディスカッション」が行われました。私は森リーダーの講演の内容報告をさせていただきます。森リーダーは、組織は常に変化を求め、また変化に対応しなければならない。それに対応できなければ組織は崩壊へ向かうのではないかと冒頭述べられました。現在ロータリークラブに求められているのは多様性（若手・女性会員の増強、地域にあった奉仕の多様性など）ではないかと述べられました。存続の危機に陥っているクラブを想定した内容もあり、よく話に出る『最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が生き延びるでもない。唯一生き残るのは、変化できる者である』などを思い出し組織も変化できないものすごいスピードで存続の危機に陥ると実感しました。また、次年度のRIテーマ ロータリー：変化をもたらす ROTARY：MAKING A DIFFERENCE ですが、DIFFERENCE という文字が使われており 変化 change ではなく、Change という言葉は言っている change しなくてもいい言葉のように私は思えるのですが、DIFFERENCE という文字が使われており、違いを生み出すということが協調され、結果を求められているように思えました。次年度は重みのまったくない超軽量級の副会長に就任させていただきますが少しでも会員皆様に喜んでいただけるクラブ運営を心がけて「いい一年だった」と言っていたように頑張ってくださいませのでご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

3. クラブ奉仕部門（次年度会長エレクト） 北村 理和子

クラブ活性化の為のグループディスカッション リーダー 森パストガバナー
 No.1テーブル 会員数が50人以上の17クラブで構成されている。森リーダーの講義の内、RIが提唱している戦略計画とは10年後のロータリーを目指す。そのビジョンの下「クラブ活性化」に取り組んで欲しい。
 ・横須賀RC
 クラブの活性化対策として、40歳以下の会員増強に取り組むとすれば、例会に出席しやすい体制作りや、入会金の取り扱いなど、クラブ規定の見直しを図らなければならない。但し、クラブ規定をゆるやかにするのではなく、代替策を明確にして取り組むことが肝要。
 ・相模原RC
 以前は会員数40名位を推移していたが、若い会員が入会したところ同世代が呼び合う形で現在は60名位を維持している。又、従来の例会日の金曜は週末で忙しい為には出席できない会員が多くクラブ細則を変更し、例会日を火曜日とした。

- ・平塚RC
若手が増えたことで、年齢格差が出ている。コミュニケーションが問題。奉仕活動がマンネリ化しているのも問題。地域との交流で30年前から行っており他の奉仕活動をしたいが難しい。
- ・小田原中RC
若手会員とは、色々な同好会を活発に実施しコミュニケーションを取っている。長老会員が理解を示して、会員間が良好な状態になっている。
- ・逗子RC
奉仕活動の後は必ず飲みにケーションを行う。夜間例会で100%出席に取り組んでいる。親睦委員会が中心となり、18：00～24：00まで会員のお店を貸切り例会点鐘から始まり、会員は出席できる時間から30分以上参加することで例会出席となる。よって、出席率は100%近くになる。

4. 公共イメージ部門（雑誌担当者） 澤田 菊江

全体会議終了後 斎藤慎太郎会員と公共イメージ部門の協議会に出席いたしました。

- ・後藤定毅リーダー
 1. ロータリーの公共イメージと認知度の向上のために（メディアとの連携）ロータリーの様々な活動を社会に広報し理解を得、ロータリーに参加する意義を周知することで結果として会員増強につながるという主旨のお話をされました。
- ・大村浪雄サブリーダー
 2. 公共イメージ委員会より現状報告及びメディア紹介
END POLIO NOW キャンペーンについて（資料を元に説明）
 - ヒアリングシートの記入について・次年度用ヒアリングシート（資料添付）
 - 寄付送金明細書について・寄付送金明細書記入説明（資料添付）
 - 2016・2017年実例映像・J：COM取材による画像映像
 - 魅力的なプレスリリースについて・プレスリリースの説明と方法
RID2780 メディア一覧表添付

- ・塚原吉雄サブリーダー
 3. 公共イメージ委員会の役割と責務
2780地区のホームページに詳細が記載されている。
- ・質疑応答
地区ホームページ、フェイスブック、SNSの活用方法と活用報告がありました。

5. 会員増強・維持部門 渡邊 磨

会員増強・維持・R家族部門に出席してまいりました。
研修会場には小佐野リーダー、加藤元章サブリーダー、そして隣の席には谷会長と田辺会員。総勢80名近くのロータリアンが集う中、ホーム感が漂い、窓からは川沿いに散りゆくさくらを眺めるのどかな風景、ランチのあとの昼下がり、ポカポカ陽気という絶好のコンディションの元、一言一句聞き漏らすことなく受講してまいりました。小佐野リーダーからは、自らロータリークラブに入会した人も義理で入会したという人も、入ったからにはロータリーを理解して、一人の小さな力から、まとまった大きな力になってほしいと基調スピーチがありました。次年度ガバナーの地区方針は、会員増強を最重点に掲げています。特に女性会員と若い会員の増強を軸に50名以下のクラブは1名以上、51名以上のクラブは2名以上の増強を継続すると示されています。次に加藤サブリーダーから、クラブの会員増強委員長の存在意義について、クラブ会長の名前は後々残るが、委員長の名前はこれにあらず。“責任は重いが気持ちを楽に考えて”と何とも有り難いお言葉がありました。会員増強には会長と委員長が一体となり、会員一人ひとりに新会員を勧誘する責務がある。これを浸透させることが重要であるとお話をいただきました。また、新会員勧誘の際にロータリークラブを理解してもらうためのDVDがあるので活用してほしいと案内がありました。DVDは小林次年度会長に購入してもらい、一度全員で鑑賞する機会を設けて、新会員の勧誘に活用出来ればと思います。

最後に地区研修委員からは、会員増強と同じく会員の維持も重要なことである。次年度ガバナーは会員増強について、やみくもに会員を増やすのではなく、着実に増やす。また、会員維持の観点から会員のケアも同時に行うとしています。折角入会した会員が、短期間で退会してしまうのは残念なこと。魅力のあるクラブ運営を目指して！というお話がありました。

6. 職業奉仕部門 瀬戸 映男

最初にリーダーとして、山地裕昭氏(パストガバナー)から、「職業奉仕の心」について15分のスピーチがあり、「ロータリーの中で人と人のつながりを持ち続けると→新しい自分に会える」また、「実践することが大事」であるとの話がありました。また、サブリーダーとして長津豊氏(現副委員長)が「職業奉仕とは何か」について話をされました。続いて、サブリーダーの瀧澤秀俊氏(次期委員長)が、「職業奉仕の実践」について意見の交換がありました。身近なところに職業奉仕のチャンスがある。内向きの職業奉仕、外向きの職業奉仕。いろいろな形態があるとの意見が出されました。その後、オープンフォーラムとしてサブリーダー佐藤忠氏(次期副委員長)により50分程度の本日の研修会の意見交換を行いました。各クラブの職業奉仕についての実践内容等意見の交換がされました。

7. 社会・国際奉仕部門（社会奉仕担当） 山田 晴史

2017年地区研修・協議会社会・国際奉仕部門報告
来年度社会奉仕委員長の任命を受けた山田です。今回は次年度SAAの小林一博さんと一緒に社会・国際奉仕部門に出席致しましたので、ご報告いたします。竹内リーダー（秦野）による、社会・国際奉仕の基本理念の説明後、濱田サブリーダー（鎌倉）の奉仕活動、学童保育の現状に対するお手伝いの話、小野サブリーダー（秦野中）のインド・ポリオNID（全国一斉ポリオワクチン投与日）に参加した時の話、高木サブリーダー（かながわ湘南）の国際奉仕の方等々のレクチャー後、休憩をはさみ全体でディスカッションを行いました。内容としましては、各クラブでの奉仕活動の報告を成功談・失敗談を踏まえおこなってまいりました。学校を作ったり、消防車やパッカー車などを送っているクラブもありましたが、効果的な国際奉仕プロジェクトの進め方は、海外クラブとの連携とかロータリー家族との連携、信頼できるNPOとの連携が大切との話もありました。総括は成田サブリーダー（平塚西）が行い、「各クラブで新しい奉仕活動を始めてください。社会・国際奉仕をたくさん実施してください」の挨拶で終了となりました。

8. 青少年奉仕部門 小山 陽生

今回は、急用で欠席された、物井さんの代打として、青少年奉仕部門の発表をさせて戴きます。この教室には、横須賀RCの青少年部門の生き字引である八巻さん、高橋隆一さんも同席されました。この部門のリーダー、パストガバナーの田中賢三さんでしたので私自身リラックスモードで臨むことが出来ました。まずリーダーが最初に全体会議のスピーチで前後を間違えてしまい、外してしまった大和人とスマホ人について3分位、自分の伝えなかったことをフォローアップしている田中さんに、とても親しみを感じました。本題に入り、5大奉仕の中で「青少年奉仕」は2010年に正式に加わった奉仕だそうです。他の奉仕活動とは異なり、80年以上の開きがある事に驚きを感じました。しかしながら世界の未来やRCの未来は、若者たちの育成なくしては語られません。国際社会や社会奉仕を経験した若者が更に増え、受け継がれ、楽しく共に理想の社会へと導ける指導者を育成できるプログラム、それが青少年奉仕だと思いました。最後に八巻さんからこれだけは漏らさないようにと言われましたので、お伝えします。9月2日（土）に藤沢市辻堂に在りますアイクロス湘南において青少年交換プログラムで派遣されていました、帰国学生解団式が取り行われます。サブリーダー鎌倉RCの久保田さんが、大勢の方に、解団式に参加して直に肌で感じてくださいそして、成長した学生たちの姿を見て触れると、青少年奉仕の素晴らしさ、達成感を味わえますと言っておられました。私も参加したいと思います。

9. ロータリー財団部門 長尾 和典

(1) 国際ロータリーのロータリー財団とは
菅原光志氏（パストガバナー）からロータリー財団の設立の経緯に始まり、第2780地区の昨年の年次寄付で集まった総額（約46万ドル）、運営上の経費率（わずか6%）、ロータリー財団の使命

- (ロータリーの会員の1人ひとりが健康を維持し、地域や世界でよいことをしよう!)などが話されました。
- (2) ロータリー財団の寄付金、補助金
中村サブリーダーからロータリー財団で集められた寄付金がどのように分けられてどの分野に使われているかの説明がされました。具体的には全資金(100%)のうち50%は国際財団活動資金(World Fund)に、0%から25%が地区補助金(District Grants)に、25%から50%がグローバル補助金(Global Grants)などに分けられている。と説明がされました。
- (3) 3つのロータリー奨学金
小柴サブリーダーから3つのロータリー奨学金、(1) ロータリー平和フェローシップ、(2) ロータリー奨学金、(3) 国際ロータリー第2780地区ロータリー奨学金、の違いの説明、それぞれの奨学金の受領者の具体例(18名)、そして28年前に当地区の奨学生として留学され現在は国連事務次長としてご活躍されている当地区財団学友の中満泉女史のお話がありました。
- (4) 地区補助金(District Grants)の事例紹介
三宅サブリーダーから当地区で承認された地区補助金(DG)の事例(20件)の紹介がされました。

10. 米山奨学部門

齋藤 眞且

雪を頂いた手の届きそうな富士山を臨み、近くにのどかに川が流れているという絶好の環境にある私立立花学園高校で、地区研修協議会が開催されました。私は横須賀クラブの米山委員として、又、地区米山委員として米山奨学部門に参加いたしました。部門別分科会では、始めに、リーダーである仲田昌弘米山奨学会評議員の基調スピーチ「米山奨学事業の総論」でこの奨学金制度が米山梅吉の偉業をたたえた日本独自の事業であることを話された後、サブリーダーのスピーチに移りました。佐久間地区米山委員長が米山委員会による年間事業計画を、私齋藤が選考試験とカウンセラーについて、笠原又一資金推進委員会副委員長が寄付の現状と増進についてグラフを使用して分かりやすく説明され、最後に澤田君雄副委員長が米山学友についての現状を話されました。私は持ち時間ぴったり20分で話を終わらしましたが他の方々の話が長く、休憩時間もない上に質疑応答での質問が多かったため、参加された皆さんはくたくたになって終了しました。

11. 研修部門

鈴木 康仁

- 3つのテーマに沿って3グループに分かれディスカッション形式で行われました。
- 1つ目：各クラブにおける研修リーダーの役割について
クラブ指導者が適宜地区研修会に出席をし、新会員の為に一貫したオリエンテーションを定期的に実施すること。また、現会員の為には継続的教育の機会を提供する。
そして、全会員が指導力育成プログラムを受けることが出来るようにすること。
- 2つ目：各クラブにおける戦略計画の導入について
戦略計画の3つの柱
※クラブのサポートと強化 ※人道的奉仕の重点化増加 ※公共イメージと認知度の向上について
話し合われました。
- 3つ目：R I 規定審議会における「柔軟性」について
今回の改正は、かなりの柔軟性を持たせたもののように感じますが、殆どのクラブが、今回の改正に沿ってクラブ細則を変更する予定が無いと答えていました。只、入会金を取るのを止めたというクラブが多かったようです。

12. 新会員部門

新倉 良是

先週の日曜日、来年度の地区研・協議会に参加いたしました。部門別協議会は加藤淳会員とともに新会員部門に参加いたしました。4名の先輩方のお話がありました。加藤リーダーからはロータリーの基礎知識という題目でしたが、大切な事は楽しくロータリーライフを過ごすことと、自分にあった楽しみ方を見つけることだとお話されていました。伊与田サブリーダーは自身が講師をされているバレエ教室の生徒とオーストラリアに行ったときのお話をされていました。そのときにせっかく行ったのでということで現地のロータリークラブにメイクアップで出席されとても温かく歓迎されたそうです。

田島サブリーダーはポリオについてお話されました。先日2780地区でインドを訪れた時の様子をビデオで見せていただきました。佐藤サブリーダーは五大奉仕についてのテーマでしたが、入会してから今までの経験や感じたことなどをお話されていました。4名の方々がとてもお話が上手で、まだ入会してから1年足らずの私にもわかりやすく説明してくださいました。

13. 新会員部門

加藤 淳

私は、午後から部門別協議会、新会員部門の分科会に新倉会員とともに参加しました。はじめに、茅ヶ崎湘南ロータリークラブの加藤盛久部門リーダーから「ロータリーの基礎知識」をテーマに基調スピーチを拝聴致しました。加藤リーダーからロータリーの成り立ち(歴史)から次年度の地区方針についてお話を頂くとともに、「ロータリー入会の動機は様々で価値観も区々でもありますが、楽しいロータリーライフをすごして欲しい」、「そして自分に合った楽しみ方で出合いを大切にロータリーライフを楽しみましょう」と暖かいお言葉を頂きました。その後、①横須賀北ロータリークラブの伊与田様から、東日本大震災時にシドニーでのメイクアップで「ロータリーは国境に関係なく皆フレンドリーな関係であるとともに奉仕の精神は皆同じである」という体験談、そして②藤沢湘南ロータリークラブの田島様から、ポリオ撲滅をロータリーが取り組んできた経緯とロータリアンの感染者“0”に向けた「熱い情熱とその行動力」について講話を頂き、最後に③津久井中央ロータリークラブの佐藤様から、ロータリー五大奉仕について、「自分たちも一生懸命やれば次も手伝う、ロータリーは義理人情だ!」という貴重なお話を拝聴致しました。今回の協議会を通じ、ロータリークラブ活動は「問題を見つけ～火をつけ～社会運動化させ～解決する」という非常に意義のあるものであり、それを愚直に取り組むことで周囲の人も巻き込み、「社会奉仕に1人ひとりが興味を持ち、それがみんなの取組みに広がる」ものと改めて感じました。そして、そのような取組みに少しでも関わることができ、私自身も「奉仕の心」を忘れずに実践していきたいと思っています。以上で報告を終わります。

14. 幹事部門

勝見 慎一

次年度小林会長のもと、幹事を仰せつかりました勝見です。当日は週間予報では雨の予報だったのですが、皆さんの行いが良いのか大変天気の良い中地区研修協議会が行われました。最初の全体会議では点鐘前に突然小田原北条家の鉄砲隊が登場するなどホストクラブの楽しい演出から始まりました。そのあと、大谷新一郎ガバナーエレクトから、次年度R I 会長のテーマ『ロータリー：変化をもたらす』についての説明をいただき、次年度の地区の方針6項目についてお話しいただきました。各部門別では、幹事部門に出席をさせていただきました。秋山リーダーから『クラブ幹事の役割と責務について』講演いただきました。幹事とは会長がクラブを円滑に進めるための補佐的な役割であり、会長の秘書役でもありますので、会長とは密に連絡を取り、会長とクラブ会員との関係を良好に保つという重責も担っているという話から、前幹事からの引継ぎをしっかりと事前にする事の大事さを教わりました。栗林リーダーからは『クラブ会員への情報伝達』についてご説明いただきました。先ず事前準備として『My Rotary』への登録をし、クラブセントラルにきちんと会員情報の入力等の報告をすること、R Iからの情報の確認、地区HPからの情報の確認やクラブ情報入力の必要性をご説明いただきました。最後には成田サブリーダーによるディスカッション形式の質疑応答となり、各グループからの質問や意見などが活発にされていました。私も第1グループとして一番最初に質問をされましたので、現状の事前準備で行っていることを報告させていただきました。帰りのバスでは次年度の取組についての活発な意見が飛び交う中、和気あいあいと楽しく帰路に就くことが出来ました。

<閉会・点鐘> 13:30 谷 会長

週報担当 鈴木 之一